

ディスク・カセットの取り扱いについて

ディスクについて

持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



取り扱いのお願い

ディスクそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- ディスクが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- ディスクを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に適合しないディスクであり、本機での再生は保証いたしかねます。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

CD-R/RWディスクのご使用について

再生できる音楽ディスクは、通常の音楽CDの形式(CD-DA)で記録されたCD-R/RWに限ります。

- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。
- CD-DA以外のデータ(MP3やWMAなど)は、再生できません。

お願い

- 特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しないでください。

特殊形状(ハート型・八角形・カード型など)のディスクやプロテクトフィルム・スタビライザーなどのディスクアクセサリを使用すると故障の原因になります。

- シール・ラベル・テープなどを貼り付けたディスクは使用しないでください。

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に、市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクは使用しないでください。

ピックアップレンズについて(DVDプレーヤー/CDプレーヤー)

使用環境(温度・湿度など)により異なりますが、長時間使用すると、ディスクに積もった細かいホコリやゴミが付着し、ピックアップレンズが汚れてしまいます。ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確かめてください。それでもなおらない場合には、ピックアップレンズの交換修理が必要となります。お買い上げの販売店、または、お近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。(保証期間後の修理は有償となりますので、ご了承ください。)

- 市販のレンズクリーナーディスクは、使用しないでください。ピックアップレンズに損傷を与えるなど、故障の原因になります。

ピックアップレンズの汚れを防ぐために

- ディスクを使用する前に、表面のホコリやゴミ、指紋などを取り除いてください。
- ときどき本機からディスクを取り出して、表面のホコリやゴミを取り除いてください。
- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。